

セミナー及び展示会「地震防災の学習教材の現状」開催報告

平成 20 年 12 月 13 日(土)～15 日(月)の日程で、三原市市民ギャラリー(三原駅前サン・シープラザ 2F)において、各種の防災教材の展示会および実演が実施されました。日本地震工学会の主催に、土木学会中国支部、地盤工学会中国支部、三原市防災ネットワークの共催、応用地震計測、学習研究社等の協力を得て開催することができました。

展示については、日本女子大学石川研究室、東京大学目黒研究室、学習研究社、応用地震計測、NPO 法人プラスアーツ等の多数の協力を得て、30 品目以上を展示することができました。また、展示品目も、防災絵本・模型教材・防災ゲームなど多岐にわたり、防災ゲームの実演コーナーも設置することができました。

実演では、13 日(土)につきましては、それぞれの展示物に十分に興味を持たれている様子を見て実演をキャンセルいたしました。14 日(日)は、人形の家を用いた家具の配置についての試みと NPO 法人プラスアーツによる防災ゲームの実演を実施しました。15 日(月)は、応用地震計測による「ぶるるシリーズ」の紹介と NPO 法人プラスアーツによる防災ゲームの実演を実施しました。

師走のあわただしい時期にもかかわらず、来訪者数は 3 日間で 100 名程度でした。展示会としては一応形になりましたので、はじめての試みとしては十分ではないかと思っております。この経験をもとに、次回以降の開催について発展していければ幸いです。

下記に、展示会の風景及び報道された新聞記事等を示します。



展示会会場



人形の家による実演



展示品の展示状況



朝日新聞 備後版 H20.12.14

(文責：事業企画委員会 広島大学 一井 康二)